

Syllabus ID	syl.-120032
Subject ID	sub.-120403802
更新履歴	20120326新規
授業科目名	工業英語Ⅱ English for EngineersⅡ
担当教員名	大島 茂 Shigeru OSHIMA
対象クラス	制御情報工学科5年生
単位数	1学修単位(自学自習を含め45時間の学修を持って1単位とする)
必修/選択	必修
開講時期	前期
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	S5HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

技術者は、産学官のどの職場においても、英文の技術文書の読み書きは必須能力となっている。工業の代表的な6分野での技術会話を糸口に、工業英語の基礎を習得する。また、技術論文を作成する準備として、英作文の演習を積み重ね、卒業研究のアブストラクトの英作文ができるようにする。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

科学の基礎知識、高専4年生までに習得した英語能力

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験をもって行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

工業英語は、文学や会話に比べ文の構造は簡単である。それは簡潔さと正確さを重視していることによる。ただし、技術者が扱う広い分野で使われる多くの専門用語や数学・物理学などにかかわる表現方法などは日常の英語学習とは別の取り組みを要する。本授業では工業英検3級へのアクセスを目指す教科書を用い、工業英語の基礎を学ぶ。また、様々な分野の論文のアブストラクトを読むことで、論文の書き方に触れ、工業英語独特の言い回しを習得する。併せて、英作文の演習を重ねることで、卒業研究のアブストラクトを英文で書ける力を養うことを目指す。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	教育目標、授業の進め方、自宅学習の方法、評価方法等の説明 英語による自己紹介 about my interest in science and technology	
第2回	機械工学	mechanical engineering 1	
第3回	機械工学	mechanical engineering 2	
第4回	電気電子工学	electrical and electronical engineering 1	
第5回	電気電子工学	electrical and electronical engineering 2	
第6回	建築工学	architectural engineering 1	
第7回	建築工学	architectural engineering 2	
第8回	前期中間試験		×
第9回	化学工学	chemical engineering 1	
第10回	化学工学	chemical engineering 2	
第11回	環境工学	environmental engineering 1	
第12回	環境工学	environmental engineering 2	
第13回	情報工学	computer engineering 1	
第14回	情報工学	computer engineering 2	

第15回	総合演習	英作文演習	
第16回	前期末試験		×
課題 授業で学習した内容を復習してくること 配布する技術論文等の例文を読んで大意を理解してくること			
評価方法と基準 評価方法: ・前回学習した教科書の内容と単語課題に関する小テスト及び英作文演習を毎回行う。 ・教科書に沿った内容で定期試験(中間、期末)を実施する。			
評価基準: 授業中の小テスト及び英作文演習 45%、定期試験 45%、授業中の発言・発表などの積極性 10%			
教科書等	日本工業英語協会発行「工業英語ワンステップ 4級テキスト 3級へのアクセス」、配布資料		
先修科目	4年生までの必修科目		
関連サイトのURL			
授業アンケートへの対応	英語による質疑応答を多くする。		
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		